



代表取締役社長

都木 謙二

(たかぎ けんじ)

1965年9月生まれ。工場作業員、実演販売など数多くの仕事を経験し、35歳で起業。自身の苗字(都木)からの発想で社名を決めたが、現在は事業多角化が進み、人的資本(キャピタル)が森(ウッズ)のように広がっている。

チャレンジが全ての源 資材レンタルから多角化

35歳で出会った天職 工事現場の資材レンタル

18歳の頃から自分に合う仕事、自分が楽しいと思える仕事を探して、15回も転職を重ねてきました。35歳の時、住宅リフォーム工事の現場で見つけたのが、作業者たちが利用する仮設トイレ。自分で始めるのなら「これだっ」。仮設トイレ、ガードフェンス、マット、保安ボックス

スなど、住宅工事の現場に欠かせない資材をレンタルする仕事で起業しようと思いを決意しました。

すでに同業他社が数多くあるなかでの新規参入ですから、最初の飛び込み営業は苦勞しました。しかし、熱意と努力を本気で示せば、それはお客様に必ず伝わるという確信がありました。工事看板を美しくデザインできるという付加価値を加え、アイデアを実現し徐々に事

業は拡大。現在、当社の仮設資材レンタル事業は、群馬県内のシェア3割を有し、北関東・長野県でのレンタル取引先は1400社にのびります。

住宅に関わるサービスを ワンストップで提供

仮設資材を提供するのは主に戸建て住宅の建設現場。新規に住宅を建てる

場合、地盤調査が必須ですが、過剰な地盤改良工事がコストアップの原因になっていることを知りました。そこで、微動探査システムなど最新鋭の機械を導入し、できるだけ自然地盤を生かした地盤調査サービスを事業化しました。

新築住宅やリフォームでは断熱効率の高い発泡ウレタンによる断熱工事を提案。現場で液体を混ぜる特殊な技術だけに、作業に習熟するには2年ほどかかりますが、そこはしっかり社員を教育しています。地盤調査から仮設資材レンタル、発泡ウレタン断熱工事、住宅設備機器販売、増改築・新築工事・産業廃棄物の収集運搬まで、住宅に関わるサービスをワンストップで提供できる体制が整っています。

廃プラをリサイクル 環境開発事業を次の柱に

事業の核を一つ作り、そこから派生する商機を捉え、当社ならではの付加価値を加えて新たに事業化する。そういう形での多角化を進めてきた20年です。多角化によって、社員がマルチスキルを磨き、適材適所で能力を発揮できるチャンスも広がってきました。

現在、新たに構想中なのは、ハウス栽培農家から大量に出るビニールフィルムのリサイクル事業です。フィルム廃材はそのままでは輸出も埋立処理もできません。しかし、リサイクルすれば再利用可能で、その過程でビニールから重油を取り出せば、これがハウスを温める燃料に生まれ変わります。あらゆる産業でゼロエミッションが求められる時代。日本の農業の持続可能性を高める上でも、社会的に意義のある事業と考え、更にSGDsへの取り組みを課題とし中間処理場やリサイクル工場の整備を急い

でいます。

もちろんこれまで全てが順風満帆だったわけではありません。2008年のリーマンショックでは多額の借金も背負いました。しかし事業がうまくいかないのは他人のせいではなく、自分の責任だと思いつつかけになりました。社員や取引先すべての人に対して「正直であらう」というのが、そこで得た教訓です。

失敗は怖くない。失敗はすべて経験となり、それは誰にも盗まれることのない自分の財産になる——私が社員によく言う言葉ですが、これは様々な職業経験を経て、たどり着いた私の哲学でもあります。新入社員も含めて、社員のチャレンジ精神は最大限尊重しています。失敗を糧に成長したいと考える社員たちが増え、それが当社の最大の強みになっています。



▲「笑顔と熱意が人をつくり、目標が人を成長させる」が経営理念。



▲ 地盤調査機や微動探査システムを活用して、過剰な地盤改良工事の削減を目指している。

所在地

〒370-0046
群馬県高崎市江木町1535

TEL

027-329-6070

設立

2004(平成16)年4月

従業員数

90名

売上高

19億円[2022(令和4)年2月期]

事業内容

仮設資材レンタル、地盤調査、住宅設備機器・総合建設資材の販売、発泡ウレタン断熱工事、産業廃棄物収集運搬、解体工事

URL

<https://capitalwoods-plus.jp>

企業公式サイト

